

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立中央森林公園（公園センター等地區）		
所在地	三原市本郷町上北方 1315		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び福祉に資する。		
施設・設備	三景園、駐車場、バーベキュー広場、運動広場、サイクリングロード、研修室等		
指定管理者	5期目	R6.4.1～R11.3.31	（一財）中央森林公園協会
	4期目	H31.4.1～R6.3.31	（一財）中央森林公園協会
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	（一財）中央森林公園協会
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	（一財）中央森林公園協会
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	（財）中央森林公園協会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R7	247,700人	227,100人	14,000人
R6		248,200人	213,100人	△19,440人	△35,100人 (85.9%)
4期平均 R1～R5		256,760人	232,540人	△30,980人	△24,220人 (90.6%)
3期平均 H26～H30		250,000人	263,520人	25,260人	13,520人 (105.4%)
2期平均 H21～H25		255,800人	238,260人	△7,807人	△17,540人 (93.1%)
1期平均 H18～H20		—	246,067人	26,567人	—
H17 (導入前)		—	219,500人	—	—
増減理由	各種イベントの開催や休日の天候に恵まれたことにより、三景園やサイクリングの利用者数が増加したことで、令和6年度から増加したものの、目標は達成できなかった。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	三景園意見箱 54 件、イベント 249 件
	【主な意見】	【その対応状況】
	トイレが和式しかないところを改善してほしい。(三景園、ピクニック広場)	県に協議して改善していきたい。
	子供でも楽しめるイベントを開催してほしい。	ちびっこ宝あつめ、なぞ解きサイクリング、里山探検クイズラリー等を通年にわたり開催した。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報 (必要随時)	—
管理運営会議 (随時)	【特記事項等】 広島空港周辺施設との連携	【指定管理者の意見】 引き続き、空港周辺施設と連携した取組や新たな連携策の検討を行い、施設の利用促進を図る。
現地調査 (1月)	【県の対応】 空港周辺施設との連携策に応じた施設の再整備を検討する。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減		年度	金額		対前年度増減	
	5期	R7	58,662	112		5期	R7	39,673	2,838
	R6	58,550	△1,791		R6	36,835	△3,108		
4期平均 R1~R5		60,341	9,426	4期平均 R1~R5		39,943	△4,415		
3期平均 H26~H30		50,915	1,415	3期平均 H26~H30		44,358	5,035		
2期平均 H21~H25		49,500	4,880	2期平均 H21~H25		39,323	△3,013		
1期平均 H18~H20		44,620	△22,750	1期平均 H18~H20		42,336	12,749		
H17(導入前)		67,370	—	H17(導入前)		29,587	—		

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目	R7決算額	R6決算額	前年度差	主な増減理由等	
収入	県委託料	58,662	58,550	112	燃料高騰に伴う委託料の増
	料金収入(※1)	39,673	36,835	2,838	三景園及びサイクリングの利用者増による増
	その他収入	28,133	23,841	4,292	受取保険金の増
	計(A)	126,468	119,226	7,242	
支出	人件費	69,400	66,404	2,996	給与改定による増
	光熱水費	10,441	9,241	1,200	電気、水道代の高騰による増
	設備等保守点検費	14,355	15,166	△811	危険木伐採量の減
	清掃・警備費等				
	施設維持修繕費	4,682	1,632	3,050	駐車場精算機の修繕による増
	事務局費	4,457	4,637	△180	消耗品購入費の減
	その他	18,136	18,942	△806	パンフレット等の印刷製本費の減
	計(B)	121,471	116,022	5,449	
収支①(A-B)	4,997	3,204	1,793		
自主事業(※2)	収入(C)	31,383	28,658	2,725	新規イベント開催による増
	支出(D)	31,774	30,218	1,556	新規イベント開催による増
	収支②(C-D)	△391	△1,560	1,169	
合計収支(①+②)	4,606	1,644	2,962		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業。令和6年度報告までは、人件費や光熱費等の支出は委託事業に計上していたが、令和7年度報告から自主事業分を分けて記載することとした。

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	三景園、バーベキュー広場及びサイクリング等の利用に加え、利用者ニーズを踏まえたクイズラリー等の各種イベントを開催し、施設の利用促進を図った。	施設の利用と合わせ、利用者ニーズを踏まえた各種イベントを開催するなど適切な業務運営を行っている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	施設利用者の満足度を高めるため、週末に地元食材を使ったランチ等を提供することで県民サービス向上に努めた。	地元食材を使った食事メニューを提供するなど県民サービス向上に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	SNSを活用し、三景園内の花の見頃などの情報発信を行い、施設の利用促進を図った。	適宜、情報発信を行うことで効果的な集客に努めている。
	○施設の維持管理	サイクリングコースや公園施設内のマツ枯れ等の危険木の伐採やナラ枯れ病蔓延防止等の維持管理業務を行った。	日常的な施設の安全点検に加え、施設内の危険木伐採等を実施し、安全で快適な利用環境の提供に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	従業員の資質向上のため、研修受講や資格取得に積極的に取り組んだ。 特に庭園管理に直結する2級造園技能士の資格を取得することで、組織体制の強化に繋がった。	職員のスキルアップに取り組み、適切な管理運営を行うための体制強化に努めている。
	○効率的な業務運営	ラジコン草刈機を導入し、急斜面での草刈の効率化を図った。	新たな機械を導入したことで現場の省力化に繋げるとともに業務の効率化に積極的に取り組んでいる。
	○収支の適正	三景園やサイクリングの利用者の増加とともに経費削減に努め、収支は黒字を計上した。	機械の導入により業務の効率化を行うとともに利用客増に向けた取組を行うことで収支の適正化を図っている。
総括		各種イベントの開催や休日の天候に恵まれたことにより利用者数は増加したものの、目標は達成できなかった。引き続き、目標達成に向け、空港周辺施設との連携や更なる利用促進のイベント企画に取り組む。	三景園等の入場者数は増加したが、目標達成できていないため、引き続き、空港周辺施設との連携や魅力あるイベントを企画する等、利用促進に取り組む必要がある。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	三景園や公園センターの利用者が増加するよう、OTA(※3)の活用や空港周辺施設と連携するとともに、危険木の伐採により、利用者の安全確保を図る。	OTAの活用に向けた課題を整理する等、より効果的なサービスの提供ができるよう必要な支援を行う。
中期的な対応	老朽化した施設の計画的な維持・管理について、県と協力しながら適切に対応するとともに、利用者ニーズを把握し、目標達成に向けて取り組む。	利用者が安全に利用できるよう施設の状況や利用者ニーズを踏まえ、指定管理者と協議を行い、優先度の高い箇所から計画的に対応を行うとともに、利用促進策について、必要な支援を行う。

※3 OTA: Online Travel Agent (オンライン・トラベル・エージェント) の略で、インターネット上で旅行や宿泊施設の予約・販売する旅行代理店。